



大阪市立大学
工学部同窓会

同窓会だより

大阪市住吉区杉本 3-3-138

TEL 06 (6607) 8373

FAX 06 (6605) 2769

発行人 木村 雅之



藤田尊志 作

《 目 次 》

木村会長・日野名誉会長の挨拶……………	2	ご寄付のお礼とお願い……………	13
学科の近況・会員短信（機械工学科）……………	3	2014年工学部卒業生名簿……………	14
〳 （電子・物理工学科）……………	5	〳 工学研究科修了生名簿……………	15
〳 （電気情報工学科）……………	7	〳 工学部入学生……………	16
〳 （化学バイオ工学科）……………	8	〳 工学研究科入学生・第26回評議員会案内 ……	17
〳 （建築学科）……………	9	工学部同窓会事務局年報……………	18
〳 （都市学科）……………	10	工学研究科・工学部研究分野・編集後記……………	19
学生向け工場見学会……………	12	平成27年“工学部同窓会の集い”の案内……………	20

ご挨拶

工学部同窓会会長 木村 雅之



初冬の候、同窓生の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素は同窓会活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

工学部同窓会長をおおせつかりまして、早2年。任期も残り少なくなりました。なんとか母校の力になりたいと執行部一同努力してまいりましたが、私の浅学菲才ゆえ尽くせなかったことをお詫びいたします。その上で、改めて同窓会活動にご助力賜りますことを切にお願いします。

大学を取り巻く環境は厳しさを増しています。少子化の流れの中で勝ち残っていくのは困難なことでしょう。大学間競争が激化する中で、教育の質を確保しなおかつ優秀な学生を確保しなければなりません。大学ご当局にあってもいろいろ新機軸を打ち出しておられますが、限られた予算や人員の中で苦戦されているようにお見受けいたします。先日、ホームカミングデーで、工学部と共同開催させていただいた講演会で、ご登壇いただいた金、堀邊両教授の講演を聞いて、感銘を受けました。両教授とも、研究室の学生・院生を「チーム」と呼び、「自分で問題を見つけ解決していく能力」や、「コミュニケーション能力」の育成に心を砕いておられました。どちらも職場においては人材育成の肝となるべきもの。母校は確かに変わろうとしていると実感しました。

同窓会としては何ができるでしょうか。我々には1万人を超える同士がいます。全学では6万人以上。それぞれが貴重な知恵と経験をお持ちです。しかし、それが十分な力となっていないのが現状です。まずは、身近なところからお力をお貸しいただけませんか。例えば、皆様からの基金により設立しました奨学金制度、認知度の低さから応募者が少ないのです。お近くの受験生に教えてあげていただけませんか。学生、院生を招いて行う工場見学会、我が社へおいでよと手を上げていただけませんか。同窓会報に近況をご投稿いただけませんか。

春からは、田中会館の中に同窓会サロンができます。是非お越しいただいてご意見を賜りたい。そんな時間ないよとおっしゃる方、ホームページにアクセスしてご意見を書き込んでください。ご要望、叱咤なんでも結構です。お待ちしております。

(電気・昭和51年卒・榊高島屋大阪店)

工学部・工学研究科の近況

名誉会長 日野 泰雄



冒頭、毎年のように天候不順の挨拶をしているように思いますが、今年は暑さが長く続く中、10月には立て続けに台風が上陸しました。同窓生各位には、大過なく活躍されていることを祈念しています。

さて、今年は理事長・学長、研究科長が新しい選考方法で選出され、私も二期目を務めることになり、昨年同様、佐藤嘉洋副研究科長と鳥生隆教育研究評議員のサポートの下、研究科・学部の運営に当たっています。

また、平成25年10月に堀邊英夫教授(化学バイオ)、今年4月には内田真講師(機械)、吉本佳世助教(電気情報)が着任され、兼子俊久教授(機械)、角掛久雄准教授(都市)、有吉欽吾准教授・五十嵐幸一講師(化学バイオ)、10月には高田洋吾教授(機械)がそれぞれ昇任されました。加えて、テニュアトラック普及定着事業により、4月から蔡凱氏(電気情報)、10月から遠藤智司氏(都市)が特任准教授として着任されました。新しいメンバーが増え、着実に実績を積み、工学研究科としては頼もしい限りです。その他、博士課程教育リーディングプログラム等の補助事業や人工光合成センター等の大学の事業も進捗しており、4月には新理系学舎も完成しました。まさに、ハードソフトともに目に見えて大学が充実しつつあります。「南部ストリート」、「さくら通り」、「けやき通り」も含めて、新しい大学、特に理系地区の様変わりには目を見張るものがあります。是非一度は大学に立ち寄ってみてください。

来春には、新しい6学科体制になって初めての前期博士課程の修了生が社会に出ます。卒業修了生の益々の活躍を期待したいものです。一方で、今年度の入学生は、学部生292名、大学院生192名(前期博士課程185名、後期博士課程7名(すべて4月入学)でした。本年度も昨年度に続いて学部生一名に、同窓会で創設いただいた奨学金が貸与されました。感謝申し上げます。また、年々参加者が増加していましたオープンキャンパスですが、今年は台風の接近に伴い、初日のみの1,478名(昨年は3,924名)の参加にとどまりました。とは言え、雨風の中、参加いただいた皆さんには感謝です。

ところで、1995年1月17日の阪神淡路大震災から2011年3月11日の東日本大震災に至る大地震、今年8月20日広島を襲った大雨による土砂災害をはじめとする風水害、さらには今年9月27日の御嶽山の噴火に至る様々な自然災害によって、多くの方々が犠牲になっています。加えて、それらに関連する基盤施設の破壊や原発事故等が社会問題化するなど、ますます工学分野の果たすべき役割が大きくなっています。

一方、今年11月25日には、大阪府都市整備部と維持管理等の技術連携に関する包括協定を締結しました。また、10月17日に医工連携イニシアティブ・セミナーを開催するなど医工連携の取り組みも進めています。今後も様々な分野で工学研究科の活躍する時代だと考えていますので、同窓会各位にも積極的に関与いただければと考えています。

最後に、今年立て続けに、工学研究科の教員が国内外で盗

表紙絵のコメント及び作者の略歴

題名は「作品2014-1」

ネゴシエーター(交渉人)の心情を抽象的に表現したものです。

VA展(関西OB友交会)2014年6月出品作品 8号。

(出品歴)奈良県美術展覧会(公募)入選5回、斑鳩洋画会展・VA展毎年出品

(現在)奈良県在住、斑鳩洋画会会員

1939年 大阪市生まれ

1962年 大阪市立大学電気工学科卒業

1996年 関西電力(株)定年退職

2002年 (株)きんでん退職

難に遭い、その際、個人情報を持ち合わせていたことで関係者の方々にご心配をおかけしました。これを期に、本学の情報資産の管理体制を強化する取り組みを進めています。

大学も今、変革の波の中にありますが、これまで以上に本学工学研究科・工学部の特徴と伝統を活かしつつ、社会に役

立つ教育と研究を進めるための道を過たないようにと考えていますので、同窓会の皆様には益々のご支援をお願いします。

末筆になりましたが、同窓会の皆様の益々のご活躍をお祈りし、近況報告の結びとさせていただきます。

(工学研究科長・工学部長)

機械工学科 (旧機械・旧知材)

機械工学科の近況

西村 伸也



卒業生の皆様にはご健勝にて活躍のこととお喜び申し上げます。まず、学生の就職・進路状況を報告します。今年3月には45名が機械工学科を卒業しました。そのうち6名が就職し、36名が本学大学院に進学、3名が他大学大学院に進学しました。また、大学院では、43名が修士

課程を修了しました。一方、4月には56名(うち女子1名)の新生が入学してきました。

ついで、今年の就職状況についてですが、修士2回生を中心に順調に推移しています。これもひとえに卒業生の皆様のご支援・ご協力の賜物と深く感謝しております。しかしながら、4回生に関しては、近年、大学院への進学希望者が増えており、今年度は8月に実施された大学院入試で約10名の進学希望ができませんでした。このうち半数以上が就職に進路を変更し、短期間の内に内定を得ております。来年度もこのような状況が続くと思われまますので、卒業生の皆様におかれましては、来年度の就職活動に際しましても、本年同様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、学科教員の近況ですが、4月には内田真先生が材料機能工学分野の講師として岡山大学より着任されました。同じく4月に兼子佳久先生が同分野の教授に昇任されました。また、10月には高田洋吾先生が動力システム工学分野の教授に昇任されました。このように、徐々にではありますが、学科教員の世代交代が進んでいます。最後に研究トピックについてですが、高田先生が開発された橋梁検査ロボット「バイリム」が新聞やNHKなどのテレビで複数回紹介されました。また、西村が日本冷凍空調学会の学術賞を、西村・伊與田准教授が日本ヒートアイランド学会の論文賞を受賞しました。

末筆ながら、卒業生の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

(工学研究科教授・機械工学科主任教授)

同窓会：23機会 近況報告

村田 昭



私はS23年都島工業専門学校機会科を卒業(年齢85~87歳)しました。同期の者の同窓会を「23機会」と名付けて、毎年続けて開催しております。今年も先日、大阪弥生会館で開くことができました。その時のメンバーの近況をまとめました。

- 伊藤俊夫：お陰で家族共々元気になっています。小生も6時半のラジオ体操。近隣の人と7時半から1時間半のウォーキングをしながら、少々ボランティアをする毎日です。旧友との再会を楽しみにしております。幹事さんには毎年のことながらお世話をお掛けします。有難う。
- 伊藤和実：車椅子から解放されて約半年。駅迄10分程の距離を歩くのに3回腰かけて休む様な状態。ますます出不精になります。足が弱る一方。食事減カリウムで弱っています。欠席で申訳なく思っています。(人工透析一歩手前)
- 大河原保：体調まずまず。心地よい季節、カメラ携え秋の野など訪ねたいと思って居ります。
- 佐古田敦己：欠席します。今年の23機会は出席したいと思っておりましたが、この年になると体力も落ち何が起るかわかりませんね。6月頃から妻を病院に送迎。今夏の異常な暑さに私も体調を崩して通院したりしました。福知山市に住む娘が毎週2日間世話してくれ助けてくれました。老人2人暮らし。お互いに励ましあったり、助け合ったりする気持が大事なあとあらためて思っています。23機会の皆様のご健康とご盛會を祈念いたします。
- 渋谷哲男：お世話頂き感謝致しております。毎日軽いウォーキング(約1時間)で健康の維持に努めています。
- 堂岡 肇：今年もお世話になります。よろしく願ひ致します。10月、運転免許更新の為高齢者講習を受ける予定にしております。
- 西村貞雄：86歳 自分の年齢に驚いています。皆様にお会い出来るのが楽しみです。
- 平野輝夫：永い教師(先生)勤めのお陰か 先ず生きています。
- 丸山公一：今回は残念ながら欠席致します。同伴してくれた長女と愚妻の都合が悪く一人では不可。健康状態は年相応の良好です。血液検査異常なし。血圧136/66 脈拍77、血栓性パーキンソン症候群のため歩行が困難です。週2回

のデーサービスとりハビリ1回と3回の外出でリハビリ中ですが、日赤の神経内科医もお手上げです。月4回は公民館の水彩画会に参加。既に11年になり会でも長老です。介護タクシーで往復、F6号を主に季節の花や静物、スケッチ等を描いています。

今少し歩行出来るように努力し再会を楽しみにしています。各位のご健勝を祈ります。

故郷は遠くにありて思うもの。

最近のNHK朝の火野正平の自転車旅行で四条躰や、豊中の岡町 安威川 万博の太陽の塔などが放映されました。正行の忠君愛国 豊中の北に3年住み 万博ではアメリカ館 地域冷房の大型冷凍機 本部ビルの空調装置などの施行を指揮しました。当時は千里の青山台の公団に住んでいました。埼玉には子供達も住んでおり大阪へ帰ることは無い予定です。

○宮尾信昭：前立腺がんの治療に通っています。最近眼も悪くなり、腰も痛くなってきました。しかし頑張っております。村田さん長らくの幹事ありがとうございます。皆様とお会いする日を楽しみにしております。

○村田 昭：なんとかこの高齢者マンションの生活にひきずられて、見た目では元気に暮らしています。ところで先日介護用品売り場で靴の“中敷き”で立体的な形で、使用すると姿勢が良くなり歩き易いを見つけました。スイス製でオーダーメイドで5万円と高価でしたが、思い切って購入しました。なかなか使い勝手良く体が楽です。いろんなものがあると感心しているこの頃です。

相変わらず、無線と、写真、パソコンでなんとなく暮れていく毎日を過ごしています。永く生き過ぎの感ありますが、もうしばらく頑張ります。

○山中 博：前略 体調不良で欠席。悪しからずご了承下さい。次回を楽しみにして居ります。

(機械・昭和23年卒)



(23機 同窓会)

近況報告

泉谷 吉寛



卒業生の皆様におかれましては、各方面で活躍されていることと存じます。私は、2006年3月まで機械工学科熱工学研究室にて三年間お世話になりました。

私は大学院卒業後、大阪ガス(株)に入社し、産業用のエネルギー営業を経て、現在はエンジニアリング業務を行っ

ております。具体的には、燃料転換のバックアップや市場ニーズに応じた技術開発、また、既設のお客さまの省エネ提案等の業務を行っています。

学生時代は、過熱水蒸気を利用し、ゴミからガスを取り出す、バイオマス関係の研究を行いました。バイオマスといえは非常に聞こえが良いですが、実験は副産物として排出される、すさまじい臭いのするタール・ピッチとの戦いでした。テストのたびに、副産物を、後輩と(が)掃除し、帰りの電車までも臭いを引きずって帰ったのが印象に残っています。これらの過酷な実験から、テスト準備(掃除)が重要な事、テスト前には想定される結果を考える事、原因を複数考え次回に生かす事を学び、これらのことは社会人となった今でも肝に銘じながら仕事を行っています。

また、研究室時代の友人は今でも一年に一度程度ではありますが、お互いの仕事の情報交換も兼ねて忘年会・ゴルフ大会を実施しています。会社外の友人との会話は、良い刺激となりますので、在校生の皆様におかれましても大学時代のご友人との親交を深めていただければと思っております。

最後になりますが、先生方には多大なるご指導、ご鞭撻を頂き改めて御礼申し上げます。そして皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

(機械・平成16年卒・同18年前期博士課程修了・大阪ガス(株))

近況報告

新田 真一郎



2011年に機械物理系専攻を卒業した後、中国電力(株)に入社し現在鳥根原子力発電所にて防火設備、溢水対策に関する部署に所属しております。

ご存じの通り2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所での事故をきっかけとして、電力会社、とりわけ原子力発電所に対しては、多くの方々からの厳しい視線が注がれています。

私がすべきことは、当社の発電所を世界で最も安全な原子力発電所とすることだと考え、原子力に関する理論の修得や、発電所の機器などに関する知識・経験をより多く積み上げることを心掛けています。その折、上司からの紹介を受け、四月から東京大学の原子力専攻に入学し勉学に勤しんでいます。本専攻は主に社会人が対象であり、修業年限としては短い1年間のため、密度の高い時間を過ごしています。

第二の学生生活を送る中で大切にしていることは、他電力、メーカー、機構、官庁から派遣された同期とのコミュニケーションです。キャリアや立場が異なる人たちと1年間という長期間を共に過ごすことは非常に稀な事例だと思います。交流を通して、立場は異なれども原子力は今後も一層の安全の基で利用していくべきであり、自分たちはそのために尽力していくのだという思いは共通であることがわかってきます。

この一年で得られるもの、単に知識や経験と行った自分自

身の能力に留まらず、本専攻で築く同期とのネットワークは、来年復職した際に非常に重要な意味を持つと考えています。卒業までにやり残しがないよう学生生活を全力で充実させたいと考えています。

最後になりますが、同窓会皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

(機械・平成21年卒・同23年前期博士課程修了・中国電力(株))

近況報告

中谷 隼人



卒業生の皆様ならびに同期である知的材料工学科2期生の皆様、ご無沙汰しております。いかがお過ごしでしょうか。

昨年度の同窓会だよりで山崎教授からご紹介頂きましたように、現在、機械工学科で講師をしております。前期博士課程修了後に一度就職したものの、大学で

扱っていた複合材料の研究が頭から離れず、後期博士課程の学生として市大に戻ったのが2007年のことです。学位取得後、東京大学でポスドク、東京理科大学で助教を務め、2013年4月に幸運にも母校に講師として戻ってこることができ

ました。学生時代にお世話になった先生方に、今度は教員としても再びご指導頂きながら、楽しく過ごしております。

CFRP等の複合材料を、航空機だけでなく自動車等、身の回りに更に普及させたいという気持ちが、学生時代から変わらない研究に対するモチベーションです。複合材料の適用拡大に少しでも貢献できるよう、現在は最近主流となりつつある損傷許容設計(ある程度までの損傷発生・進展を許容したうえで、その構造が有する強度や寿命を設計・評価する)を扱う研究を進めています。

研究や教育の場での指導というのはやはり難しく、自分なりのスタイルを模索する日々です。学生が書いた論文に対して「日本語がなっとらん」と指摘した際、学生時代に全く同じことを当時の指導教員の先生に言われたことを思い出し、その時の先生の気持ちがようやく理解できたような気がしています。他大学で教えるよりも、市大の学生に教える時のほうが心のどこかに優しさと嬉しさをもって接している自分があります。

研究室はいつでもオープンですので、近くにいらっしゃった際にはぜひお立ち寄りください。共同研究等のご提案も歓迎です!

(知的・平成16年卒・同18年前期博士課程修了・同22年後期博士課程修了・大阪市立大学工学部教員)

電子・物理工学科 (旧電気一部・旧応物)

電子・物理工学科の近況

重川 直輝



卒業生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。学科再編により発足しました電子・物理工学科では、本年度、第一期生の多くが前期博士課程修了をめざして各分野で研究活動に携わっています。

学部・研究科の領域制導入に伴い、電子・物理工学科においては研究分野が「光機能工学領域」「マテリアル機能工学領域」「エネルギー機能工学領域」の3領域に分類されました。研究分野との対応は、光機能工学領域:「光物性工学」「波動物理学」「フォトリソグラフィ工学」、マテリアル機能工学領域:「ナノマテリアル工学」「数理工学」「物性制御工学」「応用分光計測学」「検出器物理学」、エネルギー機能工学領域:「パワーエレクトロニクス」「材料計測工学」となっています。

大学院において、昨年度お知らせした文部科学省平成25年度「博士課程教育リーディングプログラム」(本学と大阪府立大学の共同実施、公立大学としては唯一)が始動しました。本学科所属の大学院生もプログラムに参加しています。今後、本プログラムを通じて産業牽引のために重要な「ものづくり」と「ことづくり」を担う博士人材を社会に提供して参ります。

杉田歩准教授他数理工学分野の有志が開発したコンピュータ将棋ソフト「Apery」が5月に開催された世界コンピュータ将棋選手権で優勝し世界チャンピオンとなりました。オープンキャンパスでご覧になった方もいらっしゃると思います。

これからも電子・物理工学科教員全員が教育・研究ともに一層励んで参りますので、ご指導とご鞭撻を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、卒業生の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(工学研究科教授・電子・物理工学科主任教授)

近況報告

岩橋 正義



私は、昭和42年に入学し、以降大学院を経てメーカーへ就職しました。今はもう会社を定年退職し、その後友人と二人で株式会社I&Lを設立し、ものづくりをしています。退職前に、「毎日が日曜日なら何しようかなあ?絵でも描くか!？」と書いていたのですが、未だ老後の頭にな

れない自分がいたので、元気な間は「今までの経験や技術を使って自分が面白いと思うものづくり、喜んでもらえるものづくり」をやってみたいと思い始めました。先ず手がけたのは、ホールをカメラで検知する電子パターゴルフクラブで

す。そして今はフェースの打点位置が分かるドライバークラブを開発しています。また健康寿命に貢献したいと考え、ベッドから自分で移乗できるリハビリ用車椅子の構想を大手企業に提案しています。長くメーカーで働きましたが、この歳になって初めてものづくりの楽しさを心から実感できるようになりました。

私は電気工学科でしたが、毎年年末に学科の同窓会「世間話の会」があります。もう40年以上続いています。また、大学院時代を電気機器学研究室で過ごしましたが、研究室の卒業生で3年に一回程度同窓会を開催します。この会ではホームページを立上げ近況などの情報交流を行っています。またゴルフ会や文化会なども行っています。私も世話役をしていますが、今後更に後輩の方々にも参加していただく予定です。また開催案内をいたしますので是非参加してください。

卒業後あるいは定年後の皆さんの体験談や熱い人生観、新たな挑戦話を聞くと元気が出ます。同窓会も過去を懐かしむだけでなく、明日の人生を活かすための糧にできればいいと思っています。皆様のご健康とご活躍を祈念致します。

(電気・昭和47年卒・同50年前期博士課程修了・同55年後期博士課程修了・株I&L)



(2013年 同窓会)

近況報告

水山 和朗



私は2012年3月に前期博士課程を修了し、東海旅客鉄道(株)に入社いたしました。卒業した現在でも大阪市立大学とのつながりがあり、今年は当社の就職窓口として学生と触れる機会がありました。また個人的には銀杏祭にも遊びに行っており、杉本町駅の東口改札の使用開始や、工学部棟と理学部棟の間に素敵なベンチが出来ていたり、大学生活がより良いものに進化していると感じました。

就職して間もなく、新大阪駅の新幹線ホーム27番線の増設工事、新大阪駅の少し西方にある新幹線を留置しておくための引上庫の増設工事という大きなプロジェクトに携わりました。平成18年頃より行われていたこのプロジェクトは、新幹線の輸送力増強や異常時対応のために行われ、平成25年度に無事完遂することができました。

私はホームの照明や、列車の到着時刻や番線を知るための発車標などを新設するための電灯電力と呼ばれるチームで、設計図の作成等を行っていました。1人黙々と取り組んだ大学での研究とは違い、土木や建築など電気以外の様々な

分野の方と協力して一つのものを作り上げるということの楽しさや難しさを学ぶことができました。大学での研究で、問題を解決するために粘り強く取り組むという姿勢が、会社で仕事を進める上でも非常に役に立っていると感じております。

現在は、国や市の要望による新駅の増設や既存駅の橋上駅舎化の工事計画等を行っております。自分の知識不足を痛感する毎日ですが、常に前向きに取り組む姿勢を崩さず、楽しく仕事を行うように心がけております。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

(電気・平成22年卒・同24年前期博士課程修了・東海旅客鉄道(株))



(平成24年3月23日 大阪市立大学修了式にて)

横田先生を偲ぶ会

正木 義則



2013年12月14日に横田先生がお亡くなりになりました。享年86歳で平素病気であられた先生といたしましては男性の平均寿命を優に超えられ大往生であったと思います。横田先生は大阪市大工学部では昭和39年から平成3年までの27年間教えてこられました。横田研究室の正式名

は数理工学研究室で量子力学と統計力学の手法を使って主に物性物理の分野の研究をしていました。工学部でありながら実験をせず紙と鉛筆を使って研究していましたので私が修士課程に入学した昭和45年当時は理論物理を研究している人間を採用してくれる企業はほとんどありませんでした。しかし研究室は先生のおおらかな性格が反映して明るい自由な雰囲気の中で研究しそれぞれ対等な気持ちで議論したものでした。

先生が亡くなられたのが急だったため葬儀に参列できた人はわずかでしたので先生を偲んで思い出を語り合うとともに旧交を温める機会にさせてもらおうと「横田先生を偲ぶ会」を計画しました。

偲ぶ会は11月15日に田中記念会館で行われ、出席者は先生の奥様と娘さんそして先生方4名、昭和41年卒から昭和63年卒までの卒業生合わせて22名でした。半数近くがすでに私のように定年退職されていましたが中には退職後新たな分野で活動しておられる方も何名かおられました。全員に先生にまつわる思い出話を語ってもらいました。先生はゼミ中よく居眠り(?)され発表者が安心してると突然きびしい質問を受けた話や先生は直感で話されることがあるのでその時はよく理解できなかったが何年か経ってやっと理解でき先生の先

見の明の鋭さを感じた話等思い出話はつきませんでした。

先生は我々に数々の思い出を残されていきました。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

(応物・昭和44年卒・同46年前期博士課程修了・同48年後期博士課程修得)



近況報告

福田 一人



卒業生の皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。私は、2001年に当時の応用物理学専攻前記博士課程を修了後、松下電器産業株式会社(現：パナソニック株式会社)に入社し、生産プロセス開発という立場で、

様々な商品に関わってきました。入社当時は、携帯電話や薄型・デジタルテレビ、DVDレコーダーなどの所謂デジタル家電の普及期であり、日本メーカーにまだ勢いがありました。

それらの商品をいかに精度よく低コストで製造するか、という観点で生産技術の開発に従事してきました。2005年頃までは、プラズマを活用した半導体製造装置開発、その後は、プラズマテレビ用の材料や塗工技術・設備開発、さらにリチウムイオン電池用の活物質材料や成膜技術開発を行い、現在は、ディーゼルエンジン用の排ガス処理フィルターの開発を行っています。所属部門の特性として、1つの商品・技術に長期間腰をすえて取り組むことはできませんでしたが、非常に広範囲の技術知識を吸収することができました。

生活拠点は大阪ですが、入社以来、横浜への長期出張や富山への単身赴任など、様々な土地での生活も経験してきました。現在も、開発拠点が名古屋郊外であり、毎週大阪との往復を繰り返しています。国内とは言え、様々な文化、出身地の方々と交流することでいつも新たな発見があります。

リーマンショック以降、国内電機メーカーは苦境に立たされていますが、卒業生の皆様の活躍を拝見し、非常に勇気付けられます。私としても新たな領域を切り開いていけるようチャレンジしていきたいと考えています。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(応物・平成11年卒・同13年前期博士課程修了・パナソニック(株))

電気情報工学科 (旧電気一部・旧情報)

電気情報工学科の近況

向井 孝彰



平成21年4月に旧電気工学科の一部と旧情報工学科を統合して設立した(新)情報工学科は、平成25年4月に電気情報工学科に名称を変更すると共に、平成26年度末には(新)情報工学科の学生が大学院前期博士課程の修了生として巣立つ時期になりました。

学科スタッフの異動では、本年3月にテニユアトラック連携教員として制御理論が専門の蔡凱准教授が、また本年4月には医用工学・看護工学が専門の吉本佳世助教が新たに着任されました。

1月恒例の論理設計作品コンテストでは、岡田卓久君の井上賞受賞をはじめ、6件の優秀賞と敢闘賞が決定し、賞状と賞金が授与されました。3月には、仕幸英治准教授が第5回応用物理学会シリコンテクノロジー分科会論文賞を、4月には前期博士課程2年の藪 博文君が平成25年電気関係学会関西連合大会における発表で奨励賞を、7月には情報工学科4年生(当時)宮脇望さんが辻岡哲夫准教授と共に電子情報通信学会平成25年度通信方式研究会奨励賞を、9月には、辻岡哲夫准教授が電子情報通信学会(IEICE)のフェロー称号を

受賞しています。

学部・大学院の就職状況は、電気と情報の両分野に渡って順調に推移しています。特にありがたいことは、電気・情報の卒業生が企業のリクルーターとして大学を訪問し、工学部の教室で会社説明会を開催して頂く機会が大変多い事です。学生達からは先輩が来学して説明をして下さると、自分達もこの企業に入って良いのだと、就職先企業に対する心理面でのハードルが下がるように見受けられ、心強い限りです。

最後になりましたが、卒業生の皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(工学研究科教授・電気情報工学科主任教授)

近況報告

中西 祥梧



皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は平成26年3月に工学研究科を終了し、通信会社に就職しました。現在の業務は通信を行うための光ファイバの移設工事の全行程を担当しています。通信を取り巻く環境はたいへん厳しく、社内でもコスト低減や新たなサービスへの取り組みが推進されています。今や通信は社会の重要なインフラ

を占める時代となり、安定した通信をお客様に提供する今の仕事はとても責任感のある仕事だと考えています。工事設計時に少しでも誤りがあると通信ができなくなるので、工事内容のチェックには細心の注意を払っています。

そんな中、私が会社に入って感じたことが2つあります。1つ目は会社では一つ一つのことに責任が生じることです。会社ではそれぞれの人にそれぞれの業務があるため、自分にも仕事を任せてもらえます。しかしその反面、その業務に関してはすべて責任をもって自分から進んで遂行しなければなりません。2つ目は自分一人で完結できる仕事はないということです。これはほぼすべて仕事に対してです

が、仕事は自分一人で行えることは少なく社内の人や社外の人と協力して行うことが多いです。そこで必要となることは基本的なことですが他の人の意見をしっかり取り入れ、自分の意見を的確に相手に伝えるということです。私はこのことを学生のときにもっと意識していればよかったとつくづく感じています。

最後になりましたが、皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(情報・平成24年卒・同26年前期博士課程修了・㈱ケイオプティコム)

化学バイオ工学科 (旧生応化・旧バイオ)

化学バイオ工学科の近況

北村 昌也



卒業生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

まず、学科の近況です。化学バイオ工学科が発足して5年が経過いたしました。2014年4月より、教員の研究組織として化学生物系専攻の下に4つの領域を設けました。出身の研究室がどの領域に属しているか、最近の動向など、一度、学科のHPをご覧ください。

次に、学科教員の近況ですが、2013年10月に堀邊英夫先生を教授として、また2014年4月に西山聖先生を特任助教として、高分子科学分野(高分子化学から変わりました)にお迎えいたしました。お二人とも多成分系高分子がご専門です。また、有吉欽吾講師が准教授に、五十嵐幸一助教が講師に、それぞれ昇任されました。さらに、大嶋教授は本学副学長(産学官連携・知財・大学改革担当)としてもご活躍です。今年度の学科教員の受賞も数多く、国際学会やシンポジウムでの奨励賞やベストポスター賞など、挙げますとつきりありません。特筆すべきものとして、小島教授が2014年度光化学協会賞を受賞されましたことお知らせいたします。

最後に学生の進路ですが、非常に順調に進んでおります。今年度は、各企業の採用活動が例年に比べて非常に活発でしたが、卒業生の皆さんが各企業においてご活躍になり、本学、本学科の評判を高めておられることも大きく影響していると思います。一方で、後期博士課程には1名しか入学してくれませんでした。企業にお勤めの卒業生の皆様、是非、社会人ドクターとして本学に戻って来てください。

最後になりましたが、今後の皆様の益々のご活躍を祈念いたしますとともに、引き続き本学科へのご支援とご鞭撻をよろしく願います。

(工学研究科教授・化学バイオ工学科主任教授)

近況報告

阪口 哲也



私は1995年に生物工業化学系専攻前期博士過程を修了後、住友ゴム工業(株)に入社し、現在まで約20年間タイヤ開発関係の業務に従事しています。卒業してから大学を訪れたことは3、4回程度ですが、行く度に変化があり、興味深く探検しています。一番の変化はやはり学術情報総合センターで、これはもっと早く私が在学中に欲しかった施設です。私は乱読が趣味なので在学中は研究室をよく抜け出して、自分では絶対に買わない(買えない)書籍をよく図書館で閲覧していました。当時このような施設があれば入り浸っていたと思います。次の変化は夏爐(かろ)が閉店してレモンライス(キノコたっぷりのチャーハン風)が食べられなくなったことです。最近の人はご存じないかと思いますが、当時の人たちは必ず何度かこの店のレモンライスを食べていると思います。(生物分子工学分野の北村教授はバイオ系なのに何故かキノコ類を嫌い、残されていましたが…)。

近況報告なのに脱線が激しいので、少し仕事の事も記載します。私は今の会社に入社してからタイヤ開発一筋ですが、街中のタイヤショップで販売しているタイヤではなく、新車で販売している車に最初から装着されているタイヤ開発をしてきました。仕事柄、車両メーカーを訪れることも多く、たくさんの人と関係する業務を行っています。なかなか刺激が多く、退屈しない毎日を送っています。住友ゴムには市大の先輩方も多く在籍しており、1回/年で市大宴会も開かれており親睦を深めています。最後になりましたが、工学部および同窓会の皆様のますますのご活躍を祈念し、近況報告とさせていただきます。

(応化・平成5年卒・同7年前期博士過程終了・住友ゴム工業(株))

近況報告

今崎 充康



私は2010年に化学生物系専攻後期博士課程を修了後、株式会社カネカに入社し、大阪府摂津市の研究所にてリチウムイオン蓄電池の研究開発に従事しています。弊社におけるリチウムイオン蓄電池の研究開発は私の入社と時期を同じくして開始され、ゼロから研究開発の立ち上げに携わるといふ、貴重な経験をさせていただいています。

現在は150年の歴史を誇る鉛蓄電池に比肩するような蓄電池の開発を行っています。

在学中は無機材料化学研究室にてリチウムイオン蓄電池用材料の合成や電池反応の基礎研究を行い、幸運にも同じ研究内容を継続しているため、在学中に培った知識と経験が大いに役立っています。一方で電池メーカーになるためには電池の生産技術を確立していく必要があり、自分にとって新しい分野へ挑戦するという刺激のある日々を過ごしています。また後輩ができた今ではリーダーシップの手本として、恩師はどう考え、どう指導していたか、と考えることが多くなりました。学生の長所を見極め、学生に合ったきめ細やかな指導を心がけておられたことがようやく理解でき、改めて感謝しています。

プライベートでは、同窓生と結婚し新しい家庭を築きはじめています。若輩者ではありますが研究者・技術者としての職をいただき、最良の伴侶と出会い、日々精一杯ながらも仕事と家庭の両輪を回しています。また、結婚式で研究室同期が集まり学生時代と同じように談笑できたことは、この上ない幸せでした。今後も市大で生まれた縁を大切にしていきたいです。

末筆ながら、工学部ならびに皆様方の益々のご活躍を祈念し、近況報告とさせていただきます。

(応化・平成15年卒・同17年前期博士課程修了・同22年後期博士課程修了・(株)カネカ)

近況報告

斎藤 智



私は2012年に化学生物系専攻前期博士課程を修了し、現在は医薬品の開発(治験業務)に携わっています。治験とはとても簡単に説明すると、動物実験が終了した薬の元となる物質(治験薬)を、実際にヒトに投与して効果や安全性を評価することです。安全性が確立されていない

治験薬を患者さんに投与するため、治験は適切な医療機関で実施され、先生の管理の下で治験薬が投与されます。私の仕事は全国の医療機関を訪問し、治験を請け負って頂き、患者さんのカルテから有効性や安全性のデータを収集することを目的としています。2014年の4月で3年目を迎えておりますが、現在は北海道や九州など様々な場所の医療機関を訪問しております。分子標的医薬品の治験に携わることもあり、学生の頃から興味があった分野に身を置くことができ、楽しく充実した時間を過ごしています。

仕事上、先生方とディスカッションする機会や先生方にプレゼンをする機会が多くございます。しかし、学生時代に所属していた生体材料工学研究室で、プレゼンテーションのイロハを教えていただいたおかげで、医療機関の先生方の前でプレゼンする機会があっても、学生時代のことを思い出しながら、臆することなく挑むことができしております。また、先生方や先輩後輩と、失敗しても気持ちを切り替えて次の事を考えるという基本姿勢を大事にしながら実験に取り組んでいたため、会社で失敗した際にもひどく落ち込むことなく、次に繋げることができております。研究室で学んだことを活かしながら、今後も業務に挑んで参ります。

最後になりましたが、皆様の益々のご活躍を祈念し、近況報告とさせていただきます。

(バイオ・平成22年卒・同24年前期博士課程修了・イーピーエス(株))

建築学科 (旧建築・旧環都一部)

建築学科の近況

谷口 与史也



卒業生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

建築学科では2014年3月に29名が卒業し、4月には37名が入学しております。卒業生の進路は、就職14名、大学院進学15名で、建築系大学院学生は20名が就職しています。ここ2年間の傾向としては

学部卒で就職する人が増加しており、修士課程の定員割れが心配されるような状況です。民間企業の採用数が増えるなか、役所の採用も復活しております。学生にとっては良い環

境であると言えます。その一方で、卒業までに4年を超える(これは伝統的ですが)あるいは休学や中途退学する者が増える状況にあります。大学全体で初年時教育(学ぶ意味、学び方)やキャリアデザインなどに力を入れ始めておりますが、つまずきから上手く立ち直る方法をいかに伝えるかに苦慮しております。

学科教員の異動などはございませんが、ユニークなカリキュラムが今年も実践されております。建築計画の横山俊祐教授と徳尾野徹准教授を中心とした木域学の座学と林業実習が実施されました。3年生の自由選択科目ですが全員出席で3日間掛けて十津川村で貴重な体験を積んでおります。研究成果については3月に修了した合田祥子さんの「大都市地下街の津波避難計画に関する研究」が注目され浸水対策に活用

されております。また、全国で3番目に実施しました指定校制推薦入試で入学した学生が4年生になっており学年をリードするような成長を遂げております。

俯瞰しますと、建築学科の学生の資質が広がったと言えますが、その分手薄になる部分もあるかと存じます。卒業生の皆様のますますのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(工学研究科教授・建築学科主任教授)

近況報告

西野 雄一郎



2013年4月にそれまで勤めた会社を退職し、後期博士課程に進学しました。2014年4月からは独立行政法人日本学術振興会の特別研究員として研究を行っています。

私は前期博士過程を修了後、株式会社大林組に入社し、退職までの4年間建築設計を担当しました。東日本大震災発生後には仙台に異動し、工場や集合住宅などの設計に取り組みました。被災地では、建築を中心とした人のつながりが日常だけでなく被災時

においても如何に重要であるかを強く感じました。建築は、竣工してから何十年も使われ続ける場であり、人をつなぎ、まちをつくります。右肩上がりの社会では建築をつくり続けることが求められてきたのに対して、人口減少や高齢化が進むなかでこれからの建築は、モノをつくるプロセスやモノと人との関係性をデザインすることが必要だと感じています。

現在は賃貸住宅におけるセルフリノベーション(SR)について研究を行っています。SRは、住み手が住まいを主体的につくり変えていくことです。壁のペンキを友人や家族と一緒に塗るといったSRによって住まいへの愛着が湧いたり、住むことが楽しくなったり、友達が増えたり、夫婦仲が良くなったりと、SRによって住まいを中心に様々な出来事が生まれています。建築と人のあり方が少し変わること、より豊かな暮らしをつくることが出来るのだと実感しています。

研究室では大正区と協同でSRによってまちをリノベーションするプロジェクトも行っており、市民・行政・専門家の方々にはいつも叱咤激励を頂いています。研究のみにとどまらず、色々な方々と一緒に実践的なプロジェクトも行いながら建築の可能性を考えたいと思っています。

(建築・平成19年卒・同21年前期博士過程修了・後期博士課程2回生・独立行政法人日本学術振興会 特別研究員)

都市学科 (旧都基・旧環都)

都市学科の近況

矢持 進



平成26年8月に同窓会組織である土木会、環境都市工学科同窓会、ならびに都市会が統合し、新たな都市会(会長:山田 優名誉教授)としてスケールアップした活動が可能になりました。卒業生の皆様には日頃から都市学科の学生の活動に対して多面的なご支援を賜り、心から

お礼申し上げます。

お陰様で、平成26年度卒業予定の学生達の進学と就職は比較的順調に進み、9月末現在で在学学生51名のうち32名が大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻ほか、大学院前期博士課程の入学試験に合格し、また、建設・コンサルタント・不動産関連などの民間企業と官公庁に17名の学生が内々定を頂いております。このほか、テニュアトラック教員(公正で透明性の高い選考により採用された若手研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者として経験を積むことができる仕組み)として、遠藤智司特任准教授が10月1日に着任されました。遠藤准教授は環境汚染物質の動態およびリスクの予測・評価がご専門で、ドイツTübingen大学からの赴任となります。

大学はこのようなテニュアトラック制度による若手人材育成のほか、海外の大学とのダブル・ディグリープログラムによる国際的な学生交換、副専攻制度による教育の多様化など

変革の風が吹いています。都市学科はこのような中で都市固有の歴史と文化を継承・発展させつつ環境負荷を低減し、人間活動と自然環境が調和した豊かで安全・安心な都市の実現を目指して、知恵と品性に優れたプロフェッショナル育成に邁進したいと考えております。今後も元気でコミュニケーション能力に富む学生を可能な限り送り出したいと考えますので、引き続き卒業生の皆様のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

(工学研究科教授・都市学科主任教授)

近況報告

久保 元生



大学を卒業してもう・まだ?35年、橋梁の仕事に28年携わり設計した橋も点検と維持管理が行われ健全かなと気になるこの頃です。

橋梁の仕事で定年まで勤めるつもりでしたが、8年前に早期退職し橋梁と縁が切れるのかと思いきや第二京阪道路の施工プロセスで橋梁業界の人達とお会いし新天地の職場で非常にお世話になりました。第二京阪道路開通後は、道路構造物(橋梁、トンネル、法面、共同溝等)及び河川堤防の点検業務、共同溝点検マニュアル作成等楽しく頑張っています。

昨年、還暦を迎え中学と高校の還暦同窓会で懐かしい友達と交友が盛んになり、お酒・ゴルフ等のお誘いが頻繁で多忙

を極め体調管理と金銭管理に苦勞する大変な日々です。昔のマドンナ（体型は想定通り）に会えるのも楽しいですが。中学校は、19クラス816名のマンモス校（運動会は長居競技場）で一緒のクラスになったことがない友人と45年ぶりに会って懐かしく、楽しく話ができる不思議な世界です。

家族は、子供3人（娘2人息子1人）とにぎやかな生活が急遽一転、6月、9月に娘2人が結婚。息子は、親父と同じ学部の橋梁研のお隣の構造研にお世話になり、先生初め卒業生の皆様のお蔭で無事就職も決まり一安心。ですが来年は家内と二人の生活に逆戻り少し寂しくなるのかな。

家内と数年前から年に1度海外旅行で家内サービスを充実し、見捨てられないよう努力しています。

お酒、ゴルフ友達との会話も、病気と年金の話が飛び交う年齢ですが、健康管理に努め仕事を通して社会貢献できるよう頑張りたいと想っています。

（土木・昭和52年卒・同54年前期博士課程修了・（社）近畿建設協会）

近況報告

上林 恭子



平成5年に大学を卒業し、早いものでもう20年以上が過ぎました。私事では、卒業して3年後に結婚し、3人の子どもに恵まれました。夫や舅姑の全面的な協力のおかげで、順調に成長し、現在、高2、中2、小4です。普段ほったらかしなので、ちょっとした時に感じる子ども

達の成長は私にとって活力の源となっています。だんだん親離れしていく年頃になり、母親としては、寂しいような嬉しいような複雑な心境です。

一方、仕事の方は、昨年度1年間区役所勤務を経験しました。選挙事務、地域活動支援、イベント開催等、技術色の無い、ザ！公務員という仕事を体験することが出来ました。

激動の1年間を過ごし、今年4月に建設局下水道河川部下水道課に異動しました。下水道事業に携わるのは初めてで、限界を感じながらも、しぶとく下水処理の本や資料と奮闘する日々が続いています。さらに、元来好奇心旺盛な性格なので、無理やり隙間時間？をつくり、「土木技術者女性の会」「NPO法人再生塾」「都市空間のつくり方研究会」「まちと女子の生き方・働き方研究会」など…いろいろな課外活動にも参加しています。これらの活動は仕事とは直接関係はありませんが、仕事で困った時に、これらの課外活動で培った経験と人脈が役にたった事が多々あります。仕事外の繋がりも、将来の自分の宝として大事にしなければと思っています。日々の小さな悩み事はあるものの、充実した毎日を過ごしており、引き続き、家庭も仕事も課外活動も楽しみながら頑張っていこうと思っています。

最後になりましたが、この機会に永らくご無沙汰している方々に上林（旧姓西田）が元気にやっていると伝われば幸いです。

（土木・平成5年卒・大阪市役所建設局）

近況報告

水田 圭亮



環境都市工学科の卒業生のみなさま、ご無沙汰しております。平成19年度環境都市工学科卒業、平成21年度修了の水田と申します。私は現在パシフィックコンサルタンツ株式会社に勤務しております。入社5年目となり、2年ほど前から東北支社で働いております。仙台は今まで訪れたことのない土地だったのですが、まわりのみなさまに助けられながら毎日元気に過ごしております。仕事上東北の各地に訪れる機会も多いのですが、東北地方はおいしい食べ物やお酒も多く、つい食べ過ぎてしまい、体重も増加傾向にあります…。入社後は河川系の業務に従事しております。

河川に関する業務は計画、調査、設計など幅広い分野があり、学生時代にもっと勉強しておけばよかったと思いながら今さらながら学生時代に購入した水理学や土質力学の教科書を開いて勉強しております。また、今年無事に技術士の資格を得ることができました。私が学生時代に先生方がご苦勞されて認定されたJABEEのおかげで早期に資格を得ることができたと思っております。先生方、ありがとうございました。

さて、私は震災1年後から東北で働いておりますが、震災復興に関する業務を経験させていただき、また被災地も多く見してきました。今後はそういった経験の中で感じたことや身につけた技術を活かし、近年多く発生している集中豪雨や土砂災害等の自然災害に対して、安全安心なまちづくりに微力ながら貢献していきたいと考えております。

・仙台に住んでいることもあり、最近はなかなか研究室のOB会など参加できておりませんが、みなさまにお会いできたときには学生時代のように楽しくお話させていただきたいと思っております。

（環都・平成20年卒・同22年前期博士課程修了・パシフィックコンサルタンツ(株)）

平成25年度「学生工場見学会」

工学部・同窓会共催の「学生工場見学会」は、工学部同窓会創設50周年記念事業の一環として平成22年度から始まり、毎年、後期試験終了直後のタイミングで2月半ばに開催されています。この「学生工場見学会」は、平成23年2月には日立造船（株）と三井化学（株）を、平成24年2月には（株）ダイヘン六甲事業所（産業ロボット製造工場）を、平成25年2月にはヤンマー（株）尼崎工場（船舶用大型ディーゼルエンジン製造工場）を見学先として実施されてきており、4回目となる平成26年2月には、広大な敷地内に都市ガス製造所、天然ガス発電所、ガス科学館が集積する大阪ガス（株）泉北製造所を見学先として、以下の要領で実施されました。

- 12：30 工学部階段教室前集合
- 13：00 貸し切りバスにて出発
- 14：00 大阪ガス株式会社 泉北製造所着
- 14：00～14：05 大阪市立大学工学部あいさつ
- 14：05～14：15 先輩から（1）：内部地区保安統括
 辻 哲男氏（S56土木卒）
- 14：15～14：45 大阪ガスの概要説明：ガス科学館
 館長 田井 高宏氏
- 14：45～15：45 見学：都市ガス製造所、天然ガス
 発電所、ガス科学館
- 15：45～15：55 先輩から（2）：エネルギー・文化研
 究所 志波 徹氏（S61機械M卒）
- 15：55～16：25 先輩から（3）：エネルギー・文化
 研究所 当麻 潔氏（S52機械卒）

16：25～16：30 大阪市立大学工学部同窓会あいさつ
17：30頃～ 堺東にバスで移動後、懇親会

参加者：工学部学生・大学院生29名、経済学部学生
1名、工学部教員2名、同窓会理事4名

「学生工場見学会」は、毎年、製造現場等の見学と、見学先企業に所属する先輩の講演がセットになっている点が特徴となっており、平成25年度も、3名の先輩の話を聴く機会が設けられ、専門的な話、業務の話に加え、後輩に対する先輩からのアドバイス盛りだくさんの話を聴くことができました。見学、講演のスケジュールのすべての場面で、同じ工学部の先輩と後輩という意識が作用し、先輩の話にも熱が入り、それを聴く後輩の興味も倍増します。そして、懇親会では、参加の学生、見学先企業の先輩、そして同窓会理事の交流が深まります。これから社会に出ようとする学生を応援する行事として、この「学生工場見学会」の継続は、意義深く、今後も継続が望まれます。同窓生の皆様には、是非、後輩たちにご自分の会社を見せてやっていただければと存じます。

なお、平成26年度は、5回目の「学生工場見学会」として、平成27年2月に、シオノギ製薬（株）摂津工場を見学させていただく予定です。

吉田 稔（機械・S52卒・副会長）



講演中の当麻潔氏



大阪ガス(株) 泉北製造所にて



大阪ガス(株) 泉北製造所にて

★★★ 経常的活動のためのご寄付のお礼とお願い ★★★

日頃は、当同窓会の活動にご協力・ご支援いただき有難うございます。お蔭様で、2010年（平成22年）11月には当会の設立50周年記念を祝うことができましたが、この間の諸活動は会員の皆様のご入学時にお納め頂いた終身会費を主要財源として継続できてきました。

しかし、2005年の大阪市立大学学友会設立以降は、それまでの各学部同窓会独自の会費徴収が学友会自身の活動費とともに、ご入学時に一括徴収して各学部同窓会に配分される方式に変わり、昨年までの6年間の当会への会費配分額は年々減少し、2011年度には学友会発足以前の2/3にも満たなくなり、事務経費などの可能な削減を進めつつありますが、まだ年収支をバランスさせ得ず、年々預金を取崩す状況になりました。

そこで、会員各位に随時ご寄付をお願いするため、2011年12月に下記の「ゆうちょ銀行振替口座」を開設させていただきました。

何かとご出費もおありとは存じますが、同封の振込用紙にて引き続きよろしくお願い申し上げます。

なお、開設以後現在までに、延べ170名の方から135万円超のご醸金を賜りました。有難うございました。

「ゆうちょ銀行振替口座」

口座記号番号：00970-0-255218

加入者名：大阪市立大学工学部同窓会

工学部新任・若手教授による講演会 ～私の研究がめざすもの～

工学部同窓会では、2010年の設立50周年を記念して「工学部同窓会奨学金」制度を立ち上げ、また、「学生員工場見学会」を実施して工学部との連携を図っていることは、『同窓会だより』を通してご存知のことと思います。これらに加えて今年から、工学部教員と同窓会員の交流を深めるため、「工学部新任・若手教授による講演会～私の研究がめざすもの～」を工学部と共催で開催することになりました。

第1回の講演会は、11月3日（月・祝）14時30分～16時20分、杉本キャンパスの工学部G棟1階中講義室で催され、同窓会員50余名が参加されました。講演会は田守芳勝さん（応物・昭和38年卒）の司会で進行しました。副工学研究科長・副工学部長 佐藤嘉洋先生と木村雅之同窓会長（電気・昭和51年卒）の挨拶のあと、二つの講演が行われました。

一つ目は、電子情報系専攻・電子物理工学科教授の金大貴先生が「無限の可能性を秘めたナノ粒子」の題目で講演されました。自然界では一つの物質が発光できる「色」は決まっているが、半導体ナノ粒子では粒子の大きさに依存して発行する「色」が変化することを、鮮やかなカラー写真とともに分かりやすく説明していただき、ナノ粒子を立体的に規則

正しく配列させれば新しい機能性材料を作り出すことが可能であると話されました。

二つ目は、化学生物系専攻・化学バイオ工学科教授の堀邊英夫先生が「永久ヒューズ用材料の開発を目指して」の題目で講演されました。高分子に金属やカーボンブラックを充填させたフィラー分散高分子で現れる、温度上昇とともに電気抵抗が増大する現象のメカニズムを分かりやすく説明していただき、低抵抗状態—高抵抗状態のスイッチングが温度に対し可逆であり、永久ヒューズとして用いることができると話されました。

講演会のあと、旧教養部生協食堂で催された懇親会に講師の2先生も参加され、歓談に花が咲きました。

この講演会は、来年以降も大学祭中の市大ホームカミングデーの特別企画として開催する予定です。講演会のプログラムは、経費の関係で同窓会の各学科評議員の方に郵送するにとどめますが、10月には工学部同窓会のホームページに掲載する予定です。

杉本キャンパスは校舎や道路が整備され、ここ数年ですっかり様変わりしています。来年には大学祭を楽しみがてら、ぜひ講演会を覗いてみてください。

東 恒雄（機械・昭和41年卒・理事）

● ご存知ですか？ ●

大阪市立大学では、各分野で活躍している卒業生や教員等の専門家が講師となり、一般市民を対象にした専門講座を毎年1月～3月に開講しています。分野は法律、会計、証券、技術、文化・歴史、理学、スポーツなど多岐にわたっています。会場は大阪駅前第2ビル6階にある大阪市立大学文化交流センターです。興味がお有りの方は、インターネットで大阪市立大学オープンレクチャーズで検索してみてください。

事務局年報 (2013.12~2014.12)

2013年(平成25年)

12月: 会報29号の発送完了 (25日)。

2014年(平成26年)

1月: 高桑・志野両監事の会計監査 (23日)。

第21期第4回理事会で評議員会の議案等について検討した。(29日)。

2月: 市大の学術情報総合センター文化交流室にて第25回評議員会を開催、第21期1年目(2013年度)の経過と収支決算報告及び会計監査報告、第21期2年目(2014年度)の理事の改選・事業計画・予算を承認。評議員会は午後1時00分から開催し午後2時00分に終了した。その後の「第10回キャンパス交流会」では、本学理学研究科の橋本秀樹教授と工学研究科の大嶋寛教授(特命副学長)の講演を拝聴の後、懇親会を催し、恩師2名を含む52名の同窓が絆を深めあった(15日)。

工学部学生「工場見学会」で大阪ガス(株)泉北製造所へ学生31名の参加があった(18日)。

3月: 平成26年度新入生への当会会則・入会案内・会報の配布を工学部事務室に依頼(1日)。新入生1名に奨学金貸与(10日)。

卒業・修了生宛送別文書と会費納入要請書の配布を各学科主任、理事等に依頼(13日)。工学部大講義室で「工学部・工学研究科送別式(学部卒業:249名、前博修了:197名、後博修了:8名)」に木村会長及び理事有志が出席(24日)。

4月: 2014年度入学式(学部入学:292名、前博入学:183名、後博入学:7名(内2013年10月入学4名))が大阪市中央体育館にて挙行される。(7日)。新入生への工学部同窓会入会受付(8日)。2回生1名、3回生1名に奨学金貸与(16日)。

5月: 第120回市大ポर्ट祭に協賛アドバルーンを掲揚(24,25日)。

6月: 第13回ホームカミングデー第1回実行委員会で今年度の取組を検討(23日)。

7月: 第21期第5回理事会でホームカミングデーの実施行事等について検討した。(30日)。

8月: 工学学術情報交流センターの夏季休館(11~15日)。

9月: 広報委員会の開催(24日)。

10月: 第21期第6回理事会で同窓会報30号の発行等について検討した。(1日)。

第12回ホームカミングデー案内状を理事・評議員・記念募金拠出者を中心に送付(2日)。

会長・名誉会長・学科主任・卒業生に会報30号原稿の依頼状を発送(10日)。

11月: 第12回ホームカミングデーの一環として、G棟中講義室で工学部新任・若手教授による講演会の実施。52名の参加者があった。(3日)。

工学部同窓会奨学金奨学生募集開始(10~14日)10名の応募があった。

12月: 会報30号の初稿を開始(2日)。

奨学金貸与者決定審査委員会開催(2日)。

第21期第7回理事会で評議員会等の議案等について検討(12日)。

(1) 第21期第1年度(2013年1月~12月)収支決算書

(イ) 経常費収支決算表(円)

収 入		支 出	
終身会費	3,750,000	会 議 費	162,218
貯金利息	1,039	行 事 費	433,795
経常寄付	517,710	交 流・懇親行事費	113,513
		会 員 報 簿	1,538,729
前期より繰越金	4,507,167	会 員 名 簿	178,500
		協 賛 費	953,609
		渉 外 費	3,550
		事 務 局 費	2,480,440
		通 信 費	50,258
		事 務 費	71,867
		備 品 費	45,820
		会 費 徴 収 費	38,930
		次 期 へ の 繰 越 金	2,704,687
合 計	8,775,916	合 計	8,775,916

(ロ) 貸借対照表(2013年12月末、円)

借 方		貸 方	
振替口座	1,231,394	2012年度累計剰余金	4,507,167
普通預金	1,649,573	2013年度剰余金	△ 1,802,480
定期預金	37,998,649	特 別 基 金	38,174,929
合 計	40,879,616	合 計	40,879,616

(2) 第21期第2年度(2013年度1月~12月)理事会役員

会 長: 木村雅之(電51)

副会長: 西口克彦(化43)、柳川重昌(物44)、黒山泰弘(土50)、吉田 稔(機52)、谷口徹郎(建59)

会 計: 東 恒雄(機41)

理 事: 人見宗男(機31)、宮本万功(機43)、笠上文男(機50)、瀧山 武(機59)、

栗政幸一(電31)、建部 渉(電35)、行藤三男(電36)、

南 繁行(電45)、前谷治男(電51)、村治雅文(電62)、

近藤 紘一(化37)、山田文一郎(化修40)、三浦洋三(化42)、

神門 登(化45)、大嶋 寛(化49)、上堂竹壽(建35)、

貴志義昭(建41)、坂 壽二(42)、金次末廣(建44)、

中川長継(建48)、湊勝比古(土41)、小林俊明(土44)、

辻江賢治(土48)、日野泰雄(土50)、大島昭彦(土55)、

田守芳勝(物38)、齋藤壽士(物44)、山本 孝(物45)

大前秀治(物56)

幹 事: 高桑久茂(電46)、志野太一(物40)

(3) 第21期第2年度(2014年1月~12月)事業計画

① 会報第30号の12月上旬発行・配布。

② 工学部・全市大行事及び事業への協力。

③ 会員相互の親睦交流の促進。

④ 特別基金の運用と有効活用。

⑤ 工学部同窓会奨学金基金の運用。

⑥ 準会員(在学生)の工場見学の実施。

⑦ 経常費収支差の改善。

(4) 第21期第2年度経常費予算(円)

収 入		支 出	
終身会費	3,750,000	会 議 費	160,000
預金利息	1,000	行 事 費	100,000
経常寄付	250,000	交 流・懇親行事費	120,000
前期繰越	2,704,687	会 員 報 簿	3,000,000
特別基金振替	1,500,000	会 員 名 簿	180,000
		協 賛 費	300,000
		渉 外 費	20,000
		通 信 費	40,000
		事 務 局 費	2,300,000
		備 品 費	250,000
		事 務 費	100,000
		会 費 徴 収 費	250,000
		次 期 繰 越	1,535,687
合 計	8,205,687	合 計	8,205,687

工学研究科・工学部の研究分野一覧

専攻名	学科名	分野名	教員名	専攻名	学科名	分野名	教員名	専攻名	学科名	分野名	教員名
機械物理系	機械工学科	熱工学	西村 伸也 伊與田 浩志	電子情報系	電気情報工学科	光電子工学	向井 孝彰 宮崎 大介	都市系	建築学科	建築構造	谷口 与史也 吉中 進
		流体工学	加藤 健司 脇本 辰郎			電磁デバイス工学	辻本 浩章			建築防災	谷池 義人 谷口 徹郎
		機械力学 (計測・評価)	川合 忠雄 今津 篤志 佐伯 壯一			スマートエネルギー	仕幸 栄治			建築材料	木内 龍彦
		材料数理工学	山崎 友裕 大島 信生			情報システム工学	高橋 秀也 吉本 佳世			建築環境	梅宮 典子 小林 知広
		動力システム工学	高田 洋吾 瀧山 武			情報処理工学	鳥生 隆 中島 重義			建築デザイン	宮本 佳明
		生産加工工学	佐藤 嘉洋 川上 洋司			知識情報処理工学	田窪 明仁 上野 敦志			建築史	倉方 俊輔
		材料物性工学	横川 善之 岸田 逸平			情報ネットワーク工学	岡 育生			建築計画	横山 俊祐 徳尾野 徹
		材料知能工学 (複合材料)	逢坂 勝彦 中谷 隼人			情報通信工学	原 晋介 杉山 久佳 辻岡 哲夫			建築構法	藤本 益美
		材料機能工学	兼子 佳久 内田 真			マルチメディア工学	阿多 信吾			コミュニティデザイン	嘉名 光市 吉田 長裕
		共通 工学部	応用数学			多羅間 茂雄 瀧澤 重志	光物性工学			中山 正昭	複合構造
	機械工作室		吉岡 真弥		フォトニック工学	竹内 日出男	コンクリート構造		角掛 久雄		
	化学生物系	化学バイオ工学科	無期工業化学		小槻 勉 有吉 欽吾	波動物理工学	細田 誠 菜嶋 茂喜		橋梁工学・鋼構造 構造・耐震	山口 隆司 松村 政秀	
			工業物理化学		辻 幸一 米谷 紀嗣	ナノマテリアル工学	金 大貴		地盤環境工学 地盤防災工学	大島 昭彦 山田 卓	
			有機工業化学		畠中 康夫 南 達哉	数理工学	寺井 章 杉田 歩		河海工学	重松 孝昌	
			高分子化学		堀邊 英夫 佐藤 絵理子	物性制御工学	中山 弘 福田 常男		熱環境	西岡 真稔	
			材料化学		小畠 誠也	応用分光計測学	小林 中		熱エネルギー設備	鍋島 美奈子	
			生体機能工学		長崎 健 東 秀紀	検出器物理工学	武智 誠次		水圏生態工学	矢持 進	
			生物分子工学		北村 昌也 中西 猛	パワーエレクトロニクス	重川 直輝		水圏環境工学	遠藤 徹	
			生物化学工学		大嶋 寛 五十嵐 幸一	材料計測工学	白藤 立 村治 雅文 田中 健司		水処理工学	貫上 佳則	
生体材料工学			田辺 利住 立花 亮	蔡 凱	廃棄物リサイクル		水谷 聡				
細胞工学			東 雅之 立花 太郎	テニュアトラック連携教員		都市基盤計画	日野 泰雄				
						都市計画	※嘉名 光市 佐久間 康富 内田 敬 ※吉田 長裕				
						交通計画 交通環境	※建築学科兼任 遠藤 智司				

編集後記

同窓会だより第30号をお届けします。

昨年来、大阪都構想（府市統合）に伴い、府立大学と市立大学の統合が進められて来ましたが、政治情勢（首長と議会の対立）に大きな変化が起り、その進捗は見通せなくなってきました。

そこで、当面工学部同窓会は従来と変わらぬ運営を進める事と成りました。

しかし、課題は解決したわけでは有りません。今後とも皆様のご支援を頂き大阪市立大学同窓会の一支部として、大学の又、工学部の運営を支援し、同窓会各位の親睦を推進して行きたいと思ひます。時代は少子化に伴い大きく変化してきています。その中で大阪市立大学（工学部）が如何に存在感を出し卒業生の皆さんが誇りに思う大学で有り続けるかを大学と、全学同窓会と共に考えて行きたいと思ひます。善きご提案をどしどしお寄せ願ひます。

（西口 克彦）

編集委員（○印：委員長）

○西口 克彦（応化：昭和43年卒）
山田文一郎（応化：昭和40年修）
谷口 徹郎（建築：昭和59年卒）

人見 宗男（機械：昭和31年卒）
大嶋 寛（応化：昭和49年卒）
大島 昭彦（土木：昭和55年卒）

瀧山 武（機械：昭和59年卒）
村治 雅文（電気：昭和62年卒）

“工学部同窓会の集い” —同窓懇親パーティー2015—

来春の“工学部同窓会の集い—同窓懇親パーティー2015—”を、下記の通り開催いたします。

当日は、先ず大阪市立大学副学長の大嶋寛氏（昭和49年応化卒・当会理事）に「大阪市立大学の現状」をお話して頂きます。

その後は、ご参集下さった皆様に十分ご歓談頂くと共に、当会の今後の活動などへの色々なご意見やご要望をお聞かせ頂く予定にしています。

当パーティーはミニ・クラス会や職場同窓会を兼ねてのご参加も大歓迎ですので、クラスの友人や職場の同窓生をお誘い合わせの上ご出席下さい。

記

★日 時：2015年2月13日（金曜日）
午後6時30分～午後8時30分

★会 場：大阪弥生会館
大阪市北区芝田町2丁目4-53
(TEL：06-6373-1841)

★会 費：6,000円（当日受付）



大阪弥生会館の地図

【参加申込】 1) 連絡事項：①ご氏名、②学科（専攻）名、③ご卒業（修了）年、
④住所（連絡先）

2) 方 法：ハガキ、FAXまたは e-mail

3) 期 日：2015年2月6日（金曜日）

【申込先】 大阪市立大学工学部同窓会 事務局

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

FAX：06-6605-2769 e-mail： dousoukai@eng.osaka-cu.ac.jp



「新理系学舎と憩いベンチ」



「工学部前のケヤキの紅葉」